

福島第一の現状 伝え続けて

パート

(兵庫県 59)

東京電力福島第一原発1、2号機の高さ120メートルの排気筒の支柱に、破断や変形が見つかったという。事故時、圧力を逃すベントに使われ、周辺は人が近付けない高レベルの放射性物質で汚染されている。東電は安全としているが、倒壊の恐れも指摘されている。

こんな状況をどれほどの大手メディアが報じているだろう。私は、先日大阪市であった反原発集会で、漫才師おしどりマコ・ケンのおふたりの講演で知った。

漫才師と言ってもこの話はギャグではない。彼らは事故後、メデ

ィアが伝えない事実を自力で知ろうと、東電会見に出席し続け質問してきた。講演によると、会見に来る記者は減り、異動などで事故時から同じ記者が来ているメディアはほとんどないらしい。また安倍政権になって東電の発表が秘密主義になったと感じているという。

集会に参加しなかったら私はこれらを知ることがなかった。これが原発事故だと知るとは、恩恵を受けてきた全ての日本人の責任である。無責任な政治家はこの状況を見ようとせず、再稼働に踏み切る。メディアは株価を報道するのと同じように、福島状況を常に伝えることが責務だと思う。